



第4子が誕生した翌日、読売新聞の速報に「解散総選挙」の文字が踊りました。1月27日公示、2月8日投票という日程は、解散から投票まで戦後最短の日程です。

我が家の方は、子どもた

saksakuコラム

衆院四国ブロック比例候補 中根耕作

【2面から】
高松市の香川町支部は、読者の対象者をあげて購読を呼びかけています。18日には3組に分かれ、1日で6部を拡大し、24日までに日曜版は9部を拡大しまし

た。支部では、宣伝、訪問・対話、しんぶん赤旗の拡大と、さまざまな行動への参加者を増やしながら取り組んでいます。

た。支部では、宣伝、訪問・対話、しんぶん赤旗の拡大と、さまざまな行動への参加者を増やしながら取り組んでいます。

ちが次々とインフルエンザにかかり、ついに私も発症。しかし、選挙の日程は待つてはくれません。発熱しながらリモート会議を行い、演説原稿の作成に取りかかりましたが、結局一週間寝込む羽目に。義理の母にも応援を頼み、先日やっと選挙をたたかう家庭の体制が整いました。

高市総理は、解散について問われるたびに否定し、1月5日の年頭記者会見でも「目の前の課題に懸命に取り組んでいる」と言っていました。衆議院が解散されるたびにいつも思うのですが、なぜ総理大臣が自由に衆議院を解散できるので

小選挙区の立候補者

《香川1区》			《香川2区》			《香川3区》		
長尾まさき	(共産・新)	37歳	瀬戸隆一	(自民・前)	60歳	大野敬太郎	(自民・前)	57歳
平井卓也	(自民・前)	67歳	玉木雄一郎	(国民・前)	56歳	細川修平	(維新・新)	51歳
小川淳也	(中道・前)	54歳	秋山友理子	(参政・新)	41歳	川崎智光	(国民・新)	44歳
道川和樹	(参政・新)	30歳						

女性後援会頑張る！



1月25日26日27日の連日、高松市内で場所を変えながら、行きかうかたにシール投票をさせていただきました。30歳台ぐらいの、親子連れの方はすべに、「給料が上がらない」と怒って投票してくれ、信号が3回ぐらい変わっても、こちらの話に耳を傾けてくれました。今の政治に相当怒っていました。自転車に乗ったままの男性は、のぼりを見ながらアンケートに答え、「親戚に香川選出の自民党議員もおるけど役に立たん。共産党は困った時に助けて

【1面から】中心の経済から、国民中心の経済政策で賃金の引き上げ、戦争への道につながる大軍拡政治をやめ対話による外交、非核三原則を守れと訴えました。女性後援会からは、高市首相の「大義なき冒頭解散」に強く抗議、「財界大企業最優先政治」から転換し国民が安心して暮らせる社会をつくる政治への転換を訴えました。また、アメリカ言いなり政治をやめ憲法9条に基づく平和外交を推進しよう、と訴えました。

性が中心になって連日宣伝カーを走らせています。支部会議では「音が出せるのは26日まで」「免許のない人は助手席に乗って、音量の管理ならできる」と議論になり、毎日、午前と午後に分けて寒さに負けずに頑張っています。



医療後援会は、歴代自民党政治のものでつくられてきた医療・介護の危機的状態を告発、アメリカ追従のもとで膨れ上がる軍事費が、社会保障費全体を圧迫しており、日本共産党だけがそこにメスを入れることができると訴えました。

粉雪が舞う厳しい寒さの中で手を振って訴え、駅前の多くの人の注目を集めました。

音の宣伝で奮闘

私は、各支部の支部長や

支部員の皆さんと協力し、選挙の中でこそ「しんぶん赤旗」読者を増やし、赤旗の魅力や政策を知ってもらい選挙で躍進することが大切だと思い、赤旗拡大に取り組んでいます。

短期決戦といわれるなか

総選挙勝利に向けて決起集会

☆☆政治とくらしを語るつどい☆☆

日本共産党木太北・南後援会は1月24日、共産党県議の樫昭二事務所にて、「政治とくらしを語るつどい」～総選挙勝利に向けて～決起集会をひらき約50人が参加しました。

最初に香川1区選挙区予定候補の長尾まさきさんが「今回の選挙は国民不在、党利党略の解散選挙。『積極財政』の名のもとに大軍拡と大企業へのバラマキで異常な円安を招き、物価高騰に拍車をかけている高市政権自民党政治でいいのかが問われている。立憲・公明党の中道政治も自民党の補完にしかなりえない。暮らしも、平和でも、人権問題でも国民のためにぶれない共産党の躍進が今こそ必要。そのためにこの選挙戦、全身全霊でたたかい抜きます」と決意表明を行いました。

引き続き、樫昭二県議会議員、岡田まなみ高松市議会議員が、自民党

政治の悪政のもとで県民や市民の暮らしがどうなっているのか議会報告を行いました。また、市議4期、県議5期つとめた樫県議から来年の統一選挙勇退の挨拶と、岡田市議から樫県議の議席を引き継いで県議選挙に立候補することが述べられました。

最後に、共産党を躍進させ、自民党政治を終わらせるチャンスにしていくことを誓い合い決起集会を終わりました。



で、私は高市首相が国会を解散する前から地域の支部の方とつどいに対話

支持拡大にとりくみをはじめました。選挙になったら赤旗を読んでくださる方や、12月に頼んだ時は断られた方には「選挙なので読んでください」とお願いすると、快く承していただけました。【3面に】